

脱炭素経営促進メールマガジン

再エネプログラム、カーボンプライシング、長期戦略(2018年3月21日配信)

1. 環境省再エネ加速化・最大化促進プログラム 2018年版を発表しました！

地域の資源である再エネ拡大の主役は、消費者・企業・自治体の皆さんです。再エネ後押しのために環境省が実施する補助金やガイドラインなどをすべてまとめたアクションプランを発行しました。現場で使えるものがあれば是非ご活用ください。

企業勉強会などで説明してほしい、もっとこういう施策を実施すべき、などのご要望・ご提案・情報提供があれば、随時、遠慮なく、環境省までご連絡ください。

<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/lca/co2reduction.html>

※上に中間報告が残ってしまっていますが、今回発表したのは下のプログラムです。

※きわめて見づらいページで申し訳ありません。資料検索ツールなど順次掲載予定です。

2. 「カーボンプライシングのあり方に関する検討会」の検討結果がまとまりました

社会の隅々でイノベーションを起こし、CO2大幅削減（脱炭素化）と経済成長を同時実現するために、カーボンプライシング（炭素税や排出量取引により、炭素に価格をつける）政策を検討しています。

昨年夏から行ってきた有識者検討会の結果がまとまったので、是非ご覧ください。

<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/cp/arikata/index.html>

※一番下です。データや諸外国の政策概要をまとめた参考資料も掲載しています。

皆様の中にも、カーボンプライシングには様々なご意見があるとは思いますが、2℃目標というゴールは同じであり、議論することが重要です。ぜひ、ご一読いただき、また、職場でも共有し、議論をしていただきたいと思います。

環境省では、今後、カーボンプライシングの具体化に向けて更に検討を進めます。

3. 環境省としての「長期大幅削減に向けた基本的考え方」を取りまとめました

国内での温室効果ガスの大幅な排出削減を目指すとともに、世界全体の排出削減に最大限貢献し、脱炭素化をけん引するため、キーとなるメッセージや民間にとってのビジネスチャンス、チャレンジのポイントなどをまとめました。

<http://www.env.go.jp/press/105237.html#shiryo>

資料1-1が本体、資料1-2が参考資料集です。

キーメッセージ1：

今ある技術を徹底的に普及させる「経済社会システムのイノベーション」が重要

キーメッセージ2：

2050年に80%削減を実現するためには、遅くとも2040年頃までに大幅削減の道筋に整合した社会を構築することが重要

中川大臣会見での大臣からのご説明はこちら

<http://www.env.go.jp/annai/kaiken/h30/0316.html>